

どのデータソースに対応していますか？

DBPublisher 本体にはデータベース機能はありません。別途データベースを用意し、テキストファイル経由で相互にデータ交換を行います。Shift-JIS, UTF-8, UTF-16 のエンコーディングに対応しています。Excel でデータを作成する簡易的なケースから SQL データベースまで幅広く対応可能です。

一つのテキストフレームに複数のフィールドを入れられますか？

一つのテキストフレームに複数のフィールドを挿入し、それぞれに対して文字スタイルやオーバーライドを適用しておくことができます。組版の結果生じた空行を削除することもできます。

アンカー付きオブジェクトに対応していますか？

アンカー付きオブジェクトへの組版が可能です。

表に対応していますか？

表のセル内に挿入されたフィールドやアンカー付きオブジェクトへの組版が可能です。空行や空列の削除、同じデータのセルの結合、表スタイルやセルスタイルの動的適用が可能です。

商品カテゴリー毎に柱の位置と色を変えられますか？

商品カテゴリーなどの特定のフィールドのデータが変化した時点で柱を移動させることができます。オブジェクトスタイルを利用して柱の色を変更することも可能です。

ノンブルを書き戻せますか？

各レコードが組版されたページ番号（セクション対応）を書き戻すことができます。

デザイン済みのドキュメントの価格だけを更新できますか？

最新価格のデータソースを読み込んでドキュメントを更新することが可能です。（※制作開始前に予め所定の設定を行っておく必要があります）

QuarkXPress 用の DBPublisher と同じことができますか？

ユーザーインターフェイスやドキュメント設計に対する考え方は QuarkXPress 用の製品とほぼ同じです。QuarkXPress 用の製品をご利用で InDesign の操作にも馴れた方であれば、導入したその日から DBPublisher/i での制作を始められます。但し、ホストアプリケーションの機能の相違により提供できる機能は異なり、ドキュメントやデータの互換性はありません。相互に類似する機能がある場合であっても細部の仕様や動作が異なることがあります。

QuarkXPress 用の製品からのアップグレードはありますか？

DBPublisher/i は QuarkXPress 用の製品とは別製品のため、アップグレードサービスはありません。DBPublisher 1.0/1.5/2.0/Classic/X の登録ユーザーの方へは優待販売がございます。

Macintosh 版と Windows 版に違いはありますか？

製品に Macintosh 版と Windows 版の区別はありません。いずれか一方のコンピュータにインストールして使用することができます。Macintosh 用と Windows 用との間で DBPublisher/i が提供する機能に特に違いはありません。

CS3 用と CS4 用に違いはありますか？

一つの製品で CS3 と CS4 の両方でお使いいただけます。

DBPublisher/i が提供する機能としては CS3 用と CS4 用との間で特に違いはありません。

実際に試してみたいのですが？

<http://www.lynx.co.jp/> より機能制限のある試用版をダウンロードすることができます。

どこで購入できますか？

株式会社リンクスより直接お問い合わせください。

自動組版プラグインの決定版 DBPublisher シリーズが Adobe InDesign に完全対応

DBPublisher/i

Database Publishing Plug-ins for InDesign

比類なき生産性をあなたに

データベースとデザインを分離して、DTP 化の波とともに進んだ人手による制作ワークフローの自動化とシステム化を促進し IT 化の次元に引き上げます。2000 年のシリーズ最初の製品発売以来、製品カタログ、通版カタログ、贈答品カタログ、情報誌、クーポン誌、名簿、目録、年鑑、ちらし、旅行パンフレットなど、数多くの商業印刷物の制作や自動生成に利用されてきました。DBPublisher/i は操作性から設計思想に至るまで名実ともに DBPublisher シリーズを踏襲する自動組版プラグインの決定版です。

データベース双方向リンク機能を備えた自動組版プラグインの決定版

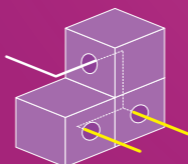
従来、商業印刷物を制作する業務は、デザインの多様性や組版後の修正の必要性等の問題が故に自動化やシステム化の対象から除外されてきました。DBPublisher シリーズは情報とデザインを分離することを可能とし、DTP 化の波とともに進んだ人手による制作ワークフローの自動化とシステム化を促進し IT 化の次元に引き上げます。2000 年のシリーズ最初の製品発売以来、製品カタログ、通版カタログ、贈答品カタログ、情報誌、クーポン誌、名簿、目録、年鑑、ちらし、旅行パンフレットなど、数多くの商業印刷物の制作や自動生成に利用されてきました。DBPublisher/i は操作性から設計思想に至るまで名実ともに DBPublisher シリーズを踏襲する自動組版プラグインの決定版です。

対話組版、自動組版、双方向リンク機能のシームレスな融合

組版後のドキュメントとデータソース間のデータの双方向リンクを維持したまま、1 商品ごとのデザイン作業から完全自動組版にまで幅広く対応。自動組版はもちろんのこと、自動化できない作業が混在するワークフローにも対応しているため、自動組版後のデータ修正やデザイン修正を必要とする商業印刷物の制作現場の強力なツールとなり得ます。

InDesign ユーザーのための自動組版ツール

テンプレート作成から自動組版設計に至るまでの全ての操作が InDesign 内で可能。InDesign ユーザーのために作られたソフトウェアです。設計と運用次第でデザインの多様性と自動化の度合いのトレードオフをユーザー自身で決めることができます。



	プロフェッショナル	ランタイム	ディベロッパー
特徴	DBPublisher シリーズの核をなす高機能プラグインです。自動組版設計を含むデータベース出版に必要な全ての機能を備えています。	プロフェッショナル版で設定が完了したドキュメントの自動組版の実行と組版後のドキュメントの修正が可能な廉価版です。ランタイム版単独では自動組版設定等ができません。	全自動組版システムを構築するのに必要な機能を搭載した開発者向けパッケージです。スク립ティングとホットフォルダによる自動組版実行機能が追加されています。InDesign Server で動作させることも可能です。
機能	テンプレート設計	○	○
	対話組版	○	○
	自動組版設計	○	×
	自動組版実行	○	○
	データベース双方向	○	○
動作環境	全自動組版機能	×	○
	InDesign CS3/CS4	○	○
	InDesign Server CS3/CS4	×	×
	Macintosh	○	○
	Windows	○	○
ハードウェア環境	※ USB ポートがハードウェアキーの接続に必要 ※ CD-ROM ドライブがソフトウェアのインストールに必要		
税込標準価格	630,000 円 (本体価格 600,000 円)	210,000 円 (本体価格 200,000)	開発中

※仕様および価格は予告無く変更されることがあります。※ InDesign 用の製品は QuarkXPress 用の製品とは機能が異なり、ドキュメントやデータの互換性はありません。相互に類似する機能がある場合であっても細部の仕様や動作が異なることがあります。※回転したフレームを含むテンプレートについては位置を正しく制御できないことがあります。※見出しや柱に対してはデータベース双方向機能は動きません。※データベース双方向機能につきましては運用の仕方によっては思わぬ結果をまねく恐れがあります。(例えばデータソース側と InDesign ドキュメント側の両方で並行して修正を行うなど) 本機能につきましては、その動作を十分にご理解いただき、徹底した運用ルールのもとでご利用いただくことを推奨いたします。※お使いのシステムの種類、およびご利用方法によっては記載以外の制限が発生する場合もございますので予めご了承ください。

開発・販売元

株式会社リンクス
〒104-0033 東京都中央区新川 2-9-3-508
URL: <http://www.lynx.co.jp/>
e-mail: DBPublisher@lynx.co.jp

※ DBPublisher は株式会社リンクスの登録商標です。 ※ Adobe および InDesign は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

テンプレート機能

DBPublisher シリーズの使いやすさの象徴ともいえる、1レコードを組版するためのひな形となるテンプレートの機能はとても強力です。

可搬性のある直感的で扱いやすいテンプレート

テンプレートを構成するテキストフレームやグラフィックフレームの中にデータベースのフィールドのひな形を直接入力スタイルなどを設定しておくことができます。テンプレートはたとえその設計途中であってもいつでも実データにて組版が可能ならぬに再度テンプレートにも復帰できるため、組版結果を確認しながらテンプレート設計を進めることができます。1度作成したテンプレートは他のドキュメントでも再利用することが可能で、ドキュメント間でデータソースが異なる場合であっても、フィールド名さえ一致すれば組版することができます。グラフィックフレームでファイル名をもとに DBPublisher/i がグラフィックファイルを検索して配置します。

少ないテンプレートで多くのパターンをカバー

いかに少ないテンプレートでより多くのデザインパターンをカバーできるかが、自動化の度合いの決め手になことが少なくありません。何十何百ものテンプレートを作らなければならないよう

では、手作業で作ると大差ないという結果になりかねません。DBPublisher/i には、テキストの量や画像のサイズに応じてフレームを伸縮させる、テキストフレームのオーバーセットや行あふれを自動的に解消する、クリッピングパスを考慮して画像をフレームにフィットさせる、データのないフレームを削除する、空行を削除する、セルを結合する、複数のテンプレートを動的に組み合わせるなど、一つのテンプレートでできるだけ多くの組版パターンをカバーするための機能が豊富に用意されています。

アンカー付きオブジェクトや表にも対応しており、InDesign の機能を駆使したテンプレートのデザインが可能です。InDesign CS4 で新たに加わった正規表現スタイルや条件テキスト機能を使えば、更なる自動化が可能です。

テキストやフレームの属性の制御が可能

InDesign タグで 1 フィールドの途中で文字属性を変更することができます。書体やカラーの変更はもちろんのこと、特殊文字やルビや表などの挿入も可能です。

オブジェクトスタイルなどの各種スタイルをスタイル名で動的に適用したり、独自の構文でデータベース側からフレームのサイズやトリミングの状態を数値で変更可能です。

データベース双方向機能

効率の面からは完全自動組版が理想的ですが、現実のワークフローの多くは自動組版後のデザイン変更やデータ変更を必要としています。

DBPublisher/i では組版後のドキュメントに加えた修正をデータソースに書き戻したり、組版済みのドキュメントにデータソースの修正を反映させることが可能です。書き戻せるのはテキストだけではなく、InDesign タグ、画像ファイル名、各種スタイル名、トリミング情報、テンプレートが配置されたページや位置までも書き戻すことができます。最終データでデザイン済みのドキュメントを一括して更新することもできます。

組版済みのテンプレートとデータソース間のリンクは主キーとして設定されたフィールドのデータにもとづいて維持されるので、ドキュメント内でのテンプレートの位置やデータソース内でのレコードの順番が変わっても大丈夫です。



対話組版、自動組版、データベース双方向機能のシームレスな融合

対話組版、自動組版、データベース双方向の主要 3 機能は完全に統合されています。組版後のドキュメントとデータソース間のデータの双方向リンクを維持したまま、1商品ごとのデザイン作業から完全自動組版にまで幅広く対応します。



自動組版

データベース出版において最も費用対効果を得られるのが自動組版です。各レコード毎にテンプレートを指定することができ、特定のフィールドのデータが変化した時点で見出し、改段、改ページなどを挿入し、マスターページを適用しながら、数百ページ以上を短時間で自動生成することが可能です。

対話組版

パネルを利用して 1 商品ごとに配置やデザインに手を加えながら行う組版作業にも対応しています。テンプレートパネルからテンプレートをドキュメントページにドラッグして配置し、レコードパネルでデータを確認しながら、またはグラフィックパネルで商品画像を確認しながら 1 商品ずつ組版することができます。この対話組版の操作は自動組版の後に行うことも可能で、自動組版後に他の商品に差し替えたり、商品をそのままに他のテンプレートに差し換えることなどが可能となっています。



商業印刷や出版印刷の自動化からチラシ制作の効率化まで

自動組版では、グループ化されたテンプレートに対する組版の他に、1つのテキストフレームに複数レコードを組版しかつテキストフレームを次々と連結していくことが可能で、この方式を利用すると辞書や目録などによくある 1レコードの途中で段やページが変わるようなレイアウトにも対応できます。見出しや柱に関する機能も充実しており、商業印刷から出版印刷まで幅広く対応します。

柱と見出し

自動組版の際に、ジャンルに応じて柱を移動させたり、一つの柱に複数のジャンルを挿入することができます。特定のフィールドのデータが変化した時点で、見出しや改段・改ページなどを挿入できます。

表対応

テンプレートに表を含めることができ、セル内での文字あふれ処理、空行削除、空列削除、セル結合などが可能です。一つの表に複数のレコードを組版し、複数のテキストフレームに渡る大きな表を生成することができます。

「ふちデザイン」との連携動作

当社別製品「ふちデザイン」を使用すると白ふちや多重の色ふちの効果を文字属性として適用することが可能です。チラシ制作の効率化にも威力を発揮します。

This section contains several screenshots. On the left, a screenshot of InDesign shows a grid of product images being generated from a database. On the right, a screenshot of DBPublisher/i shows a table of data with columns for product names and prices. Below these are two screenshots of a document layout. The first shows a table of data with columns for product names and prices. The second shows a document layout with a table of data and a list of product names. Text overlays on these screenshots describe the automation of color and font changes and the use of 'Fuchi Design' for white borders.

InDesign タグを駆使してカラーやフォントの変更とルビを振っている例です。一つのテンプレートが見開きの左右ページに渡っています。
提供：東進ブックス様「古文単語 FORMULA600」

一つの表に複数のレコードを組版している例です。表は分野毎にまとめられており、見出しが表の間に挿入されています。一番左側の列は 2レコード以上に渡るデータの同じセルが結合されています。わずか 2つのテンプレートだけでこのような複雑な表組が可能です。
提供：株式会社アルク様「オーストラリア&ニュージーランド留学事典」

※実際の出版物の制作は QuarkXPress 4.1 と DBPublisher/i で行われました。上記の例はご提供いただいたデータを元に InDesign CS3 と DBPublisher/i で本カタログ用に作り直したものです。

充実の製品ラインナップで業務拡張にも柔軟に対応

製品ラインナップとスケーラビリティ

製品ラインナップとして、自動組版設計を含むデータベース出版に必要な全ての機能を備えた「プロフェッショナル版」、1商品ごとにデザインを整えながら行う対話組版や自動組版後のドキュメント編集などに適した廉価版の「ランタイム版」、InDesign Server での自動組版の無人運転を可能とする「ディベロッパー版」(2009年1月の時点で開発中)が用意されています。DBPublisher/i の各製品で作成したドキュメントは相互に互換性がありますので、業務の規模や要求に応じて容易に運用形態を拡張できます。

一人完結型から共同作業へ

プロフェッショナル版で設定を終えたドキュメントをランタイム版で開いて自動組版の実行とデータベース双方向リンクを維持した状態での編集を行なえますので、プロフェッショナル版 1ライセンスでの一人完結型の作業から始めて複数のスタッフによるドキュメント単位の分業へとスケールアップが可能です。

デスクトップからサーバーへ

ディベロッパー版のスクリプティング機能やホットフォルダ機能により自動組版の無人運転が可能となります。ディベロッパー版の組版エンジンは InDesign Server でも動作させることが可能ですので、デスクトップ製品で構築した自動組版の仕組みをベースにサーバー環境での運用に段階的に移行できます。InDesign Server を利用したシステムを構築する際の負担を大幅に軽減します。プロフェッショナル版で設計したドキュメントをサーバー環境で自動組版し、ランタイム版で組版後のドキュメント編集を行うといったようなワークフローを構築できます。

サーバーから Web アプリケーション開発へ

Web アプリケーションによる自動組版システムの構築の際にも DBPublisher/i のテンプレート技術と組版エンジンが威力を発揮します。ディベロッパー版を導入すれば、DBPublisher/i で設計したドキュメントをウェブブラウザから送られるフォームデータで自動組版し PDF としてブラウザへ返すような Web アプリケーションを開発することができます。